

景観まちづくり学習助成事業実施校

学校名

横浜市立仏向小学校

① 学習指導案

プログラム	No. 11 「 景観プランナーになろう 」
単元名 (全70時間)	Let' s Smile Recycle
学習のねらい	地域のごみに関する問題に対して、「人・生物・地球」が「笑顔」で過ごせるように解決を目指す活動を通して、課題やニーズに合わせて実現可能な方法を考え、環境問題の解決方法は多様でありながらも相互に関連していることやそれに携わる人々の取組や考えのよさに気づき、現実の社会課題に対して行動できた喜びを実感し、環境問題や地域に関心や考えをもち循環型社会の実現に向けて行動していこうとすることができるようにする。
学習内容	1 地域のごみ拾いを通して、地域のごみ問題の実態を知る。 2 ごみ拾いで集めたプラスチックを材料にエコバッグを作成し、販売する。 3 帷子川で生態調査を行い、川に関連したごみ問題の実態を発信する。 4 学習のまとめとして、地域に貢献した活動を考える。
参考資料 準備品 実施場所等	実施場所 「仏向小学校」「仏向町」

学習の流れ







別紙（学校指定様式）




② 事業実施報告書詳細

学校名

横浜市立仏向小学校

時間数	場所	概要	活動記録（写真）	対象者の反応
2	学校	○活動計画 これまでの学習を振り返りながら、中心となる活動を話し合った。 ・地域のごみ問題について「人・生物・地球」が「笑顔」で過ごせるように取り組むことに決まった。		・昨年度までの総合や本校で行われていた実践していた学習から想起し、今年度の活動にも期待している発言があった。

8	地域	<p>○地域のごみ拾い活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校周辺のごみ広い活動を通して、学校近隣の実態を把握し、問題解決に向けた意欲をより一層高めた。 ・横浜市内で活動されている河原勇輝さんとゴミ拾いの分析を行い、解決策としてエコバッグづくりに取り組むことが決まる。 	 	<p>・「こんなに落ちて いるごみが多いな んて知らなかった 」「大人だけではなく、子どもが捨てたであろうごみも多いことがショックだった。」</p>
15	学校	<p>○エコバッグ作り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゴミ拾いで回収したペットボトルからエコバッグを作製する。 ・デザイン決める ・販売方法と販売価格を検討する。 	 	<p>・自らが拾ったペットボトルからエコバッグを作製できた事でリサイクルの良さを実感していた。</p> <p>・販売方法や価格を検討することを通して、経済活動を理解していた。</p>
10	帷子川	<p>○帷子川の生態調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・帷子川で生態調査を行い、周辺環境の生態系の豊かさを知る。 ・専門家からごみが生態系に与える影響を知る。 	 	<p>・「こんなに生き物があるなんて知らなかった。」などと身近な川に多様な生物がいることを理解していた。</p> <p>・「生き物がいたけど、ごみもあって悲しくなった。」などごみがあることを理解した。</p>

10	学校 地域	<p>○ポイ捨てごみ対策として、仏向のまちに花を置く。</p> <p>・地域の中でポイ捨てが多い所に花を置き、ポイ捨ての抑制を図った。</p>		<p>・地域のポイ捨てを分析することで、場所によって傾向があることが分かり、ポイ捨てを少なくしたい。という気持ちがさらに高まっていた。</p>
10	学校	<p>○地域に活動を発信する</p> <p>・これまでの活動をまとめ地域のイベントで発表した。</p> <p>エコバッグを販売した。</p>		<p>・活動を地域に広めることで達成感を味わうと同時に、たくさんの協力が得られた。</p>
15		<p>○ゴミ拾いの魅力を伝えるためにゴミ拾いイベントの開催</p> <p>イベントの計画、準備 広報のためポスター作製</p> <p>イベントを2回実施、振り返り。</p>		<p>・たくさんの方々に参加して頂いたり、イベント中に声を掛けて頂いたりして地域とのつながりを実感していた。</p>

③ 実施内容について

<p>(1) 実施にあたり工夫した点</p> <p>子どもたちにとっての体験活動を充実させた。環境問題については世間一般的に広く知られており、子どもたちにとっても既知のことだったが、身近な問題としての捉えが薄かった。そこで、できるだけ環境を取り巻く問題を体験し、諸感覚を通して実感的に学ぶことで問題を身近に捉えて活動に主体的に取り組めるよう意識した。また、環境問題は現実的に複合的な要素が多く、様々な意見や考え方があふ。そこで、本単元でも環境問題の解決方法を一つではなく複数提示することで、子どもたちがそれぞれの考えを抱けるようにした。</p>
<p>(2) 実施にあたり苦労した点</p> <p>複数の外部機関と継続的に学習に取り組んだため、学習計画と日程調整に苦慮した。</p>
<p>(3) 児童の反応</p> <p>体験的に学習することでそれぞれが思いや願いをもち、主体的に活動に取り組んでいた。休日に有志で集まり、地域でゴミ拾いをする意欲的な姿が見られた。地域を対象としたため、子どもたちの中では地域社会への帰属意識が高まり「私たちのまちを大切にしたい」という思いが芽生えていた。また、年間を通して様々な方々と学習することでコロナ禍では感じられにくかった「人とのつながりの大切さ」を実感していた。</p>
<p>(4) 担当教諭及び担当外教諭の変化</p> <p>活動を積み重ねることが大切だと実感した。タブレット端末が一人一台配布され、気になったこと知りたいことはいつでも手に入れられる状態になった。しかし、そういった事で得られる知識と体験を通して諸感覚を活用して得た知識とでは質が全く違うことを実感できた。今後も体験的な学びの充実を図っていきたい。</p>
<p>(5) 今後の課題と取り組み [児童の思考過程と指導内容との関連付けから、留意すべき事項等]</p> <p>課題としては「費用」と「継続的な学習」二つが考えられる。「費用」の課題としては外部やダイナミックな活動を行おうとするとそれなりの費用が発生する。学校では賄えないことが多く、児童の活動に制限がかかってしまう。そういった中で本助成事業は大変ありがたかった。「継続的な学習」への課題としては、今回のように地域と関わる学習では単年で関わるのではなく学校組織として継続的・計画的に関わるのが大切。そうすることにより、子どもたちの思いや願いがより具体的になり、充実した学びになると考える。</p>

1 単元について

子どもの実態

学習に対して前向きに取り組もうとする姿が見られる。特に体験活動には楽しさを見出しながら熱心に参加することができる。また、そうした活動の中で様々な考えをもつことができる。一方で、その考えや思いを話し合いで伝えることは苦手意識が感じられる。

活動に向かう子どもの思いや願い

昨年度の SDG s に関する学習から漠然と実社会の「誰かの役に立ちたい。」「問題解決をしたい。」という思いがあり、生き物の保護とリサイクルに関心が集まった。話し合いの中で両者にごみが深く関わっていることに注目し、環境問題に取り組むことになった。そして、実際にゴミ拾いの活動を重ねる中で「思ったよりもごみが多い。」「子どもが出したごみもある。」など問題を身近に受け止めた。そして、「地域の問題を解決に役立ちたい。」「誰もが笑顔で気持ちよく過ごせるように」という強い思いをもち活動している。

材について

「ごみ」は全ての人にとって身近であり常に関わっているものである。現在では、多岐にわたる社会問題の原因となっている。その問題解決に取り組んでいく様々な方々の活動を通して、多様な価値観に触れたりや解決方法を経験的に学んだりすることができる。資源と考えて再生利用することで新たな価値を創造し、販売などの経済活動を通して、持続可能な循環型の社会作りを体感することができるのも魅力といえる。

期待する子どもの姿

自分なりの考えをもち、表現したり、行動に移したりすることができるようになってほしい。同時に、そういった主体的な学習を「楽しい」「学びが深まる」などと思い、その良さを実感してほしい。そして、活動を通して、環境問題を身近で切実感のある問題と捉え直し、自分なりの考えをもちながら生活を見直したり、地域を大切に思い、参画したりしようとする態度を育てたい。

単元目標

地域のごみに関する問題に対して、「人・生物・地球」が「笑顔」で過ごせるように解決を目指す活動を通して、課題やニーズに合わせて実現可能な方法を考え、環境問題の解決方法は多様でありながらも相互に関連していることやそれに携わる人々の取組や考えのよさに気づき、現実の社会課題に対して行動できた喜びを実感し、環境問題や地域に関心や考えをもち循環型社会の実現に向けて行動していこうとすることができるようにする。

目標を実現するにふさわしい探究課題	探究課題の解決を通して育成を目指す資質・能力		
	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
地域のごみ問題とそれに関わる人々の循環型社会づくりに向けた取組、意義	<ul style="list-style-type: none"> 環境問題の解決方法には、多様性や相互性があり持続性が必要であることやそれに関わる人々の取組や考えのよさに気づく。(概念的な知識の獲得) 環境調査を、目的や対象に応じて適切に行なったり、得た情報を適切に処理して表現したりすることができる。(自在に活用することが可能な技能の獲得) 地域の人々の願い・思いと様々な取組の価値への理解は、地域の環境問題を解決すること 	<ul style="list-style-type: none"> 「人・生物・地球が笑顔で過ごせる社会」という目的の実現に向けて地域社会から課題を見出し、解決の見通しをもつことができる。(課題の設定) 地域の環境問題の現状を効果的に伝えるために、地域の方々へのインタビュー、フィールドワークなど効率的な手段で情報を集め、適切に蓄積することができる。(情報の収集) 多様な情報を、視点を設定し 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の方々と関わり合って、自分なりのアイデアを表現したり、仲間や地域の方の考えに触れたりしてそのよさを感じようとする。(自己理解・他者理解) 地域の環境問題解決を目指して活動する楽しさやまちな人とふれあう喜びを感じ取り、自分や仲間のよさを生かしながら粘り強く追究しようとする。(主体性・協働性) 地域の環境問題解決に向けて活動することで、まちに役立

	へ探究的に学んできた成果であることに気付く。(探究的な学習のよさの理解)	て分類整理したり、そこから新たな考えをつくったりする。(整理・分析) ・自分の考えたことを相手や目的に合わせてまとめ、わかりやすく工夫して表現することができる。(まとめ・表現)	つことができた自分自身に気付き、地域の一員として地域の中で自分にできることを見つけ、地域の他者や社会課題と豊かに関わっていかうとする。(将来展望・社会参画)
--	--------------------------------------	---	--

2 小単元構想 (※全体の構想は別紙)

(1) 小単元目標

地域のゴミ問題や課題について調べる活動を通して、地域を取り巻く環境問題や地域の方々の思いやニーズを理解し、自分たちにできることを考えるとともに、地域の方々と協力して活動しようとするができるようにする。

(2) 小単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・地域のゴミ問題について詳しく調べたり、インタビューしたりして、地域のゴミ問題の課題や地域の方々のニーズがあることを理解している。	・地域のごみ問題を解決するためにその実態や課題から原因を分析し、解決可能な問題に着目し、ニーズに合った具体的な方法を考えている。	・地域のごみ問題を解決したいという願いをもって活動に向かうことで、地域の方の思いや人柄に触れ、つながりを感じ取り、社会課題や地域の他者に自ら関わっていかうとしている。

(3) 小単元展開

学習課題

○学習活動

・期待する変容

みんなで協力！横浜clean隊！ (総合13時間)

地域のごみ問題を知ろう ⑤

- ごみ拾いをして実態を調査する。
- 地域の課題解決のために自分達にできそうなことを考える。

- ・思ったよりもごみがたくさん落ちているな。子どもが捨てたゴミもたくさんある。
- ・場所によって落ちているごみの種類が違うな。
- ・ごみは多いけど、ゴミ箱は少ない。清掃している人がいる場所もあるね。
- ・たばこの吸い殻が多いから吸い殻入れを作ったらいいんじゃないかな。

自分達にできることをやろう ⑥

- 自治会長さんへ考えたことを提案する。
- ニーズを考慮に入れて、再提案する。
- 河原さんに5-1の目的やこれまでの取り組みを伝え、今後の活動への助言を受ける。
- 「リサイクルチーム」と「ポスター」に分かれて今後の活動を定める (本時)

- ・タバコの吸い殻入れを設置すれば良いと思ったけど、逆に迷惑なんだ。
- ・ごみ問題を解決したいと思っている気持ちは同じだったよ。なんとかできないかな。
- ・地域の人たちが望んでいることをしたいな。
- ・ごみ置き場にポスターを作って、貼ろう。
- ・ごみに価値を与えることを通して、まちをきれいにしたいな。

3 本時について

(1) 本時目標

河原さんから学んだことを振り返り、今後の活動について話し合う事を通して、河原さんの取組や思いへの理解を一層深め、リサイクルやゴミ拾い、ポイ捨てごみを減らす活動の価値や意義について考えるとともに、今回の気づきを今後の活動に活かそうとすることができるようにする。

(2) 本時の展開

○主な学習活動 ・予想される子どもの反応	・教師の手立て ★評価規準
<p>① 本時の課題を確認し、活動の見通しを立てる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>河原さんから学んだことをまとめて、今後の活動を考えよう。</p> </div>	<p>・学習課題をどのような手順や方法で解決していくかを問い、見通しをもてるように助言する。</p>
<p>② 河原さんの話から学んだことを項目ごとにまとめる</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p style="text-align: center;">【リサイクル】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・拾ったごみからあんなにすてきな物が作れるなんてすごい ・ごみをリサイクルして価値を生み出すなんてすごい ・販売して、利益を出すことも大切なんだ ・販売だけでなく、動画作りも大切なんだ ・目的を明確にすることが大切なんだ </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p style="text-align: center;">【ごみ拾い】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・拾ったごみを分類して記録することも大切なんだ。 ・ごみ拾いから気持ちが広がることもあるんだ ・私たちのゴミ拾いの輪が広がると良いな ・活動を継続することが大切なんだ。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">【ポスター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タバコのゴミ箱を置いてしまうと逆にたばこのポイ捨てが増えてしまうなんて驚いた。 ・ごみのポイ捨てを防ぐために花を植えることが良いなんて驚きだった。 </div>	<p>・項目別にまとめた学びを活かして今後の活動を考えられるよう、板書をまとめる。</p> <p>・活動するグループは異なるが、同じ目的に向かって活動していることを確認する。</p>
<p>③ 今後の活動を考え、共有する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごみ拾いは継続的にやりたいけど、授業の時間はあまり無いから登下校中に頑張りたい。 ・リサイクルの活動を頑張って、ごみに価値を与えたい ・地域に花を植えたいけど、まずは植えても良いのか町内会に聞いてみたい <p>④ 次時の課題を確認し、振り返りを書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごみ拾いは私たちの思いを広げるチャンスだから継続して頑張りたい ・みんなが笑顔になるために近づくために、まずは地域の人と話してみたいな。 ・リサイクルがとても大切だということが分かった。ただ作って売ることを目的にするのではなく、思いをより多くの人に分かってもらえるように頑張りたい。 	<p>★河原さんから学んだことを振り返り、今後の活動について話し合う事を通して、河原さんの取組や思いへの理解を一層深め、リサイクルやゴミ拾い、ポイ捨てごみを減らす活動の価値や意義について考えるとともに、今回の気づきを今後の活動に活かそうとしている。</p> <p style="text-align: right;">(思考・判断・表現) 【発言・学習カード】</p>

(3) 視点②にかかわって見ていただきたい点

- ・話し合いによって気づきや思いは深まっていたのか (本人は発言していなくても)